

<第102回キャンパス・サミット資料>

平成28年6月21日

社会環境学部の「里山ビオトープ」と新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

坂井宏光

1. 里山ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープ活動は平成18年3月から始まり、可能な限り持続的に自然環境を維持保全して発展させてきました。そして、地域の皆様と学生達が自然観察会などで交流の輪を広げています。

平成28年度のビオトープ活動は、4月29日（金）に第40回自然観察会を開催しました。参加者は1歳から40歳代の地域住民10名、学生35名で、「春に身近で食べられる野草～味覚で春を感じよう！」を楽しみました（下の写真）。

次回は、7月2日（土）第41回（夏）の自然観察会を開催いたします。是非、親子やグループ、個人などでご参加いただき、大いなる自然の中で昆虫採取や交流もお楽しみください。また、10月15日（土）第42回（秋）、12月3日（土）第43回（冬）に自然観察会を順次、開催します（開催案内等はHPで公開中）。



2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 地域環境連携活動の一環として、新宮町60周年記念事業の一つで設置された人丸公園ビオトープでの環境保全や環境学習を推進するため、自然観察や生態系調査、交流活動を行っています。

6月1日（水）午後に環境基礎演習で学生30名と教員1名、新宮町職員2名で、自然観察を行い、生物調査を行いました（下の写真）。ヌマガエルやニホンアカガエルなどを見つけ、絶滅危惧種のシャジクモが水中で発生している可能性も見出しました。ビオトープ造成後、地域独自の植物が徐々に再生し、生態系が復活・形成されていることを実感できました。また、周辺環境の雑木林やアシの湿地、田畑との調和があり、これからの季節ごとに美しい景観が見ることが期待されます。是非、人丸公園ビオトープ周辺でご散策をお楽しみ下さい。

